

## 下関支部事業報告

支部長 小山亜弥

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
評価と今後の課題	コロナ禍にあり、研修会や地域のイベント等実施できていない状況である 地域の状況や会員の要望等を踏まえ、今後の活動を検討していきたい
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催) ハイブリッド方式、33人参加 (1)R4.3.8「高齢者のフィジカルアセスメント～不調のサインを見逃すな～」
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援・・県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援→未実施 (1)看護の日記念イベント時に、学生や未就業者に対して進路・就業相談 (2)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (3)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業(下関地区・豊浦地区) (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)R4.5.21「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催：(下関地区・豊浦地区)年9回→未実施 (2)地域行事での救護協力予定(R4.10.29・30日本遺産フェスティバルin関門4人、R4.11.6海峡マラソン32人、R4.11.20歴史ウォーク1人) 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会 R4.6.30、9.30、R5.1.31 (2)研修会R4.11.30「認知症高齢者の在宅療養をどう支えるか」41人参加
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生 (1)研修会(職能委員会主催) R4.4.22「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症」59人参加 (2)会員交流会→未実施
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)支部役員会 R4.6.6、7.22支部集会、8.30、10.14、11.30、R5.1.30、3.20 (2)支部委員会 ①職能委員会 R4.11.25、R5.1.17 ②教育委員会R4.10.5、11.16、R5.1.31、3.1、3.8 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 ①R5.2.2 下関市防災会議 ②R5.3.2 下関医療対策協議会 (2)広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿(10月) ②県協会ホームページへの投稿 (3)訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける →未実施